

報道各位

令和4年度市川市文学ミュージアム企画展
プレス向け内覧会及び観覧のご案内

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本市文化振興に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、市川市文学ミュージアムでは「生誕70年記念星野道夫展 oneness—いのちの循環—」を開催いたします。

本展では、市川ゆかりの写真家・星野道夫の大小約30点の写真パネルのほか自筆原稿やキャンプ道具、愛用品などを紹介します。資料を通して星野が見つめた自然と生き物が調和する世界に触れていただける企画展となっております。

プレス向け内覧会を開催いたしますので、ぜひご来館くださいますようお願い申し上げます。

■日 時:①プレス向け内覧会 令和4年7月1日(金) 13:30～15:30

担当学芸員による個別取材対応、展示室内撮影対応

※展示室内の三密を避けるため、ギャラリートークの実施は見合わせております。

お手数ですが、出欠のご連絡は6月30日(木)までにメールにてお願い申し上げます。

②一般公開期間 令和4年7月2日(土)～令和4年9月4日(日)

開館日時及び休館日等につきましては、同封の展覧会案内をご確認くださいませようお願いいたします。

■会 場:市川市文学ミュージアム(市川市生涯学習センター2階) 企画展示室

■観覧料:無料

※生涯学習センター2階のエレベーター前で受付後、取材対応させていただきます。

市川市文学ミュージアム

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1丁目1番4号

市川市生涯学習センター2階

TEL047-320-3334/ FAX047-320-3356(月曜休館)

担当:沼尻 日向子(bungaku-plaza3@city.ichikawa.lg.jp)

プレスリリース

生誕70年記念 星野道夫展

oneness—いのちの循環—

市川に生まれ育ち、極北の大地アラスカの大自然やそこに息づく野生動物、そして先住民族の暮らしを見つめ寄り添った写真家 星野道夫。カリブーやグリズリー、ムースなどの動物や現地に暮らす人々、四季の風景まで、星野は写真という媒体を通して“いのち”を捉えつづけました。

人間や動植物だけでなく、大地や風のゆらめきにもいのちのつながりを感じた作品は、現代社会に生きる私たちに自然と一体となるいのちの物語“Oneness”を伝えてくれます。

本展では星野の旅の軌跡を写真と言葉で辿るとともに、市川での生活に触れた著作品も紹介いたします。

展覧会名	生誕70年記念 星野道夫展 oneness—いのちの循環—
会 期	令和4年7月1日（土）～9月4日（日）
会 場	市川市文学ミュージアム 企画展示室
開館時間	平日 10:00～19:30 土日祝 10:00～18:00 ※入室は閉館時間の30分前まで
休館日	月曜日、7/19、7/29
観覧料	無料

本展のポイント

- ◆本展は星野道夫の生誕70年を記念して開催いたしました。星野の業績を振り返り、その作品を通して星野が生涯追いつけた極北の世界により親しんでいただくため、無料で公開します。
- ◆市川ゆかりの写真家・星野道夫の大小約30点の写真パネルや直筆原稿や撮影日記ほか、愛用品や取材に携行したキャンプ道具、愛読書などを展示し紹介いたします。第一展示室では「原野をかけるいのち」と章立てし、グリズリーやカリブー、ムース、ツンドラの大地や花々などの写真パネルを紹介します。第二展示室では「氷海に煌めくいのち」と章立てし、ザトウクジラやホッキョクグマ、アザラシ、オーロラや氷河などの写真パネルを紹介します。
- ◆写真家だけでなく文筆家として活躍した星野の言葉の引用パネルやエッセイ集、著作集にあわせて市川に触れた著作作品の紹介。展示室内には星野のゆかりの地を描いたマップパネルの展示も行っております。
- ◆会期中には星野直子氏による講演会、星野道夫が出演したドキュメンタリー映画「地球交響曲 ガイアシンフォニー第三番」の上映会、星野が著した写真絵本の読み聞かせ会などのイベントを開催いたします。
- ◆展示室外壁面には本展のメインビジュアルである「夕暮れの極北の河を渡るカリブー」と「氷の世界に生きるホッキョクグマの親子」のバナーを設置。フォトスポットとして記念撮影にご利用いただけます。(このスポットのみ撮影可。それ以外展示室内撮影不可)

会期中のイベント

◆スライド&トーク 星野道夫の世界 いのちのつながりを見つめて

出演：星野直子氏(星野道夫事務所代表)

日時：7月30日(土) 13:30～15:00(開場は30分前)

場所：生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

人数：200名(事前申し込み制)

◆読み聞かせ会 星野道夫の絵本の世界

日時：8月5日(金) 10:30～11:00(開場は30分前)、

14:00～14:30(開場は30分前)

場所：生涯学習センター2階 ベルホール

人数：各回40名(事前申し込み制)

◆上映会 地球交響曲ガイアシンフォニー第三番

日時：8月20日(土) 13:30～16:00(開場は30分前)

場所：生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

人数：200名(事前申し込み制)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベントなどが中止、変更または臨時休館となる場合があります。詳細は公式ウェブサイト、ツイッターなどで随時お知らせいたします。

広報用貸出画像

〔企画展チラシ画像〕

私はいつからか、自分の生命と、自然とを切り離して考えることができなくなっていた

oneness
—いのちの循環—

市川市文学ミュージアム企画展
生誕70年記念 **星野道夫展**
2022. 7/2sat - 9/4 sun

監修：星野直子 協力：星野道夫事務所
主催：市川市 入場無料

oneness

—いのちの循環—
市川市文学ミュージアム企画展
生誕70年記念 星野道夫展

市川に生まれ育ち、アラスカの大自然やそこに息づく野生動物、先住民の暮らしを見つめ寄り添った写真家星野道夫。星野は写真という媒体を通して「いのち」を捉えつづけてきました。

人間や動物だけでなく、大地や風のゆらめきにもいのちのつながりを感じた作品は、現代社会に生きる私たちに自然と一体となるいのちの物語「Oneness」を伝えてくれます。

本展では星野の軌跡を写真と言葉で辿るとともに、市川での生活に触れた作品も紹介いたします。

EVENT
イベントのお知らせ

スライド 星野道夫の世界
& トーク いのちのつながりを見つめて

○出演 星野直子氏（星野道夫事務所代表）
○日時 7月30日（土）
13:30～15:00（開場13:00）
○会場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ
○入場料 定員200名
○事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式Webサイト、ツイッター等で随時お知らせ致します。

観み聞かせ会 星野道夫の絵本の世界

○日時 8月5日（金）
10:30～11:00（開場10:00）
14:00～14:30（開場13:30）
○会場 市川市生涯学習センター2階ベルホール
○入場料 各回定員40名
○事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式Webサイト、ツイッター等で随時お知らせ致します。

上映会 地球交響曲
ガイアシンフォニー 第三番

○日時 8月20日（土）
13:30～18:00（開場13:00）
○会場 市川市生涯学習センター2階グリーンスタジオ
○入場料 定員200名
○事前申込制 応募方法の詳細は広報いちかわ、公式Webサイト、ツイッター等で随時お知らせ致します。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、イベント終了後、変更または臨時休館となる場合がございます。詳細はホームページ、ツイッター等で随時お知らせいたします。



●上：ムース（デンナリ国立公園 ワンダレーイ）●中：クリスリーの親子 ●下：サトウタケのブリーダー
●右上：氷の世界に生きるクマの親子 ●右下：夕陽の光に目を惹かれるクマ

星野 道夫 (あしのみちお)
1955年、千葉県市川市生まれ。19歳の時に自ら設立したスキーの村の自然写真家になる。村長役に手を離す。半年後、結婚。結婚の直前、30歳の星野は父の病気で亡くなる。その後、東京大学大学院に進学。卒業後、写真家田中光太郎の助手となる。1983年、アラスカ大学野生動物管理学修士号を取得。以後、アラスカの自然と人々をテーマに写真と文章を駆使して発表。1996年、月島、千代田で自然と人間の共生についての講演により、環境省、文化庁、文部科学省から表彰状を受賞。

Michio Hoshino
撮影写真、たまたまの瞬間でつづる

市川市文学ミュージアム Ichikawa City Museum of Literature

【JR池袋駅】本入館前、下船中山駅より徒歩15分 【都営新宿線】本入館前より徒歩20分
【池袋駅】常盤橋より徒歩10分 【池】池袋遊覧 池袋市川インター下車5分

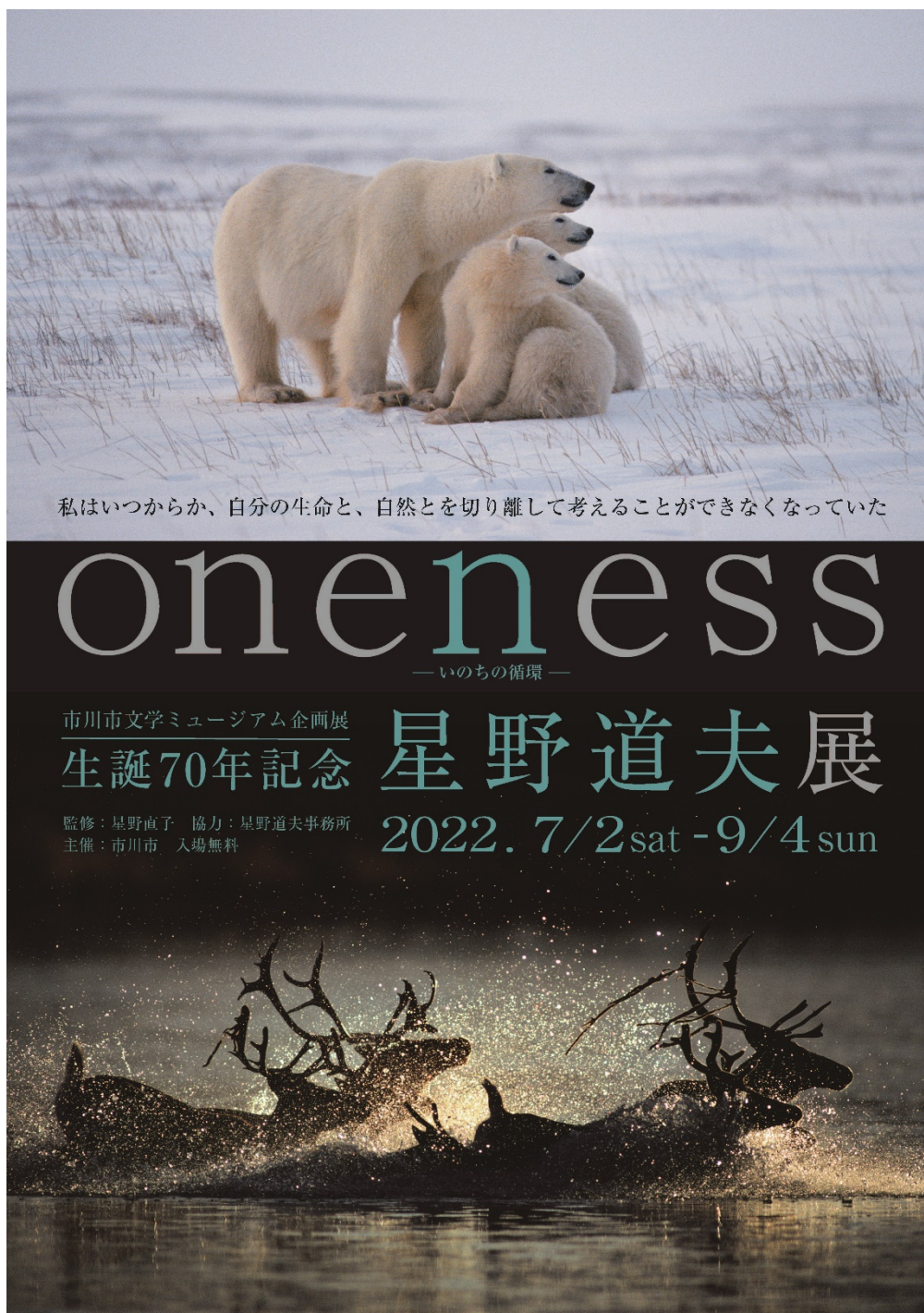
※駐車場はありますが、できる限り公共交通機関をご利用ください。
※夜入館時からコンコース（無料）もご利用いただけます。

〒272-0015 市川市荒黒1丁目1番4号
市川市生涯学習センター（中央図書館）2階 市川市文学ミュージアム（月曜日休館）
TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3336
公式Webサイト <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cu/06/ititara.html>

※チラシ内に掲載の画像をご利用されたい場合は要相談とさせていただきます。

※後記の広報用画像貸出条件であるクレジットの明記(写真提供：星野道夫事務所、撮影：星野道夫)、印刷物の提供をお願いいたします。

〔企画展ポスター画像〕



◆星野道夫展広報用画像貸出につきまして◆

展覧会広報用画像をご利用希望の際には、下記貸出条件をご確認のうえ、E-mail もしくはTEL、FAXにてご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。担当者より折り返しご連絡いたします。

【広報用画像貸出条件】

- ・ 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・ 画像データはご使用后必ず消去してください。
- ・ 著作権法を遵守し、問題が生じた場合には、申請者がそのすべての責任を負うこととなります。
- ・ クレジットの明記(写真提供：星野道夫事務所、撮影：星野道夫)
- ・ 印刷物の提供

※下線2点はチラシ・ポスター内掲載の写真データをご利用の場合

雑誌名・番組名・WEBサイト名： _____

発売・放送予定日 _____

貴社名 _____

ご担当者名 _____

ご住所 _____

ご連絡先 TEL _____

FAX _____

E-mail _____

市川市文学ミュージアム 担当：沼尻

TEL：047-320-3334 FAX：047-320-3356

E-mail：bungaku-plaza3@city.ichikawa.lg.jp

(休館日：月曜日、月曜が祝日の場合は翌平日休館)